

寸言

原田精機株式会社
代表取締役社長
原田 浩利



新しい宇宙産業の幕開けに

本年10月1日に入会いたしました原田精機株式会社の原田でございます。このたびSIAC様のご紹介と三菱電機株式会社様のご推薦を頂きまして入会させていただくことになりました。皆様よろしくお願いたします。

弊社は、原田精機工業株式会社より2007年8月分社化し、宇宙・航空産業の部品製造を主力とした活動を目的とするために原田精機株式会社を設立いたしました。

原田精機工業としてはこの分野に参入して11年程、衛星部品の製作は9年程です。

原田精機と原田精機工業とも規格認証情況としては、EN9100、ISO27001、ISO9001、ISO14001の4規格をドイツの認証機関TUV Rheinlandで2000年より順次認証取得しております。

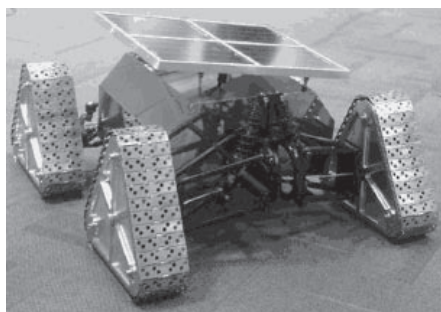
近年の活動としては、ISTSはままつ大会(第26回宇宙技術および科学の国際シンポジウム2008)の企画副委員長として運営に参加いたしました。

また大会では、惑星探査用車両(ローバー)を製作し、デモ走行を実演いたしました。

ローバー開発は2006年より行い、現在はコンピュータによる遠隔操作ができるシステム開発が完成しております。また電気自動車は2007年に完成させ、現在も次世代車両の研究に取り掛かっております。

車両開発は原田精機工業時代40年の経験から車両設計、パワートレイン設計、制御システム設計を行いローバーを開発しております。

静岡県浜松市という立地環境も手伝い、自動車、オートバイ、楽器、繊維などの産業のお手伝いをさせて頂くことも多くあります。これら産業用の機械設備の設計製作、各種検査機器の設計製作は原田精機工業の歴史では



惑星探査用車両(ローバー)

多くの製品を送り出しております。

そして車両の世界では、F1に代表されるモータースポーツの車両やスーパーバイクなどのエンジン、車両開発に参加できる企業として多くのお声がけを頂いております。

弊社はこのような企業活動を行ってまいりました。

これからの研究課題として衛星情報利用産業と技術をテーマに今後のビジネスモデルを研究しております。GNSSを利用した現在より高度化した情報産業と、誰でも使うことができる安心システムを日本発として世界発信できれば、衛星事業と情報産業の拡大になるのではないかと考えております。

そして、国際宇宙ステーションとHTVの成功から宇宙旅行も夢ではなくなった時代が来たことで、新しい宇宙産業の幕開けとなったと感じております。これからの宇宙ビジネスの飛躍と人類の生活向上に少しでも貢献できたらと思います。

日本の宇宙産業界は、世界とどのように協調し、共生できるのかを工業会の皆様にお教え願えればと思いますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。